

JIA 建築セミナー2015

原点と先端

現代の建築を 考える手がかり

急激に成熟しつつある現代の日本では、社会を保つためのルールがどんどん複雑になっています。建築をつくるための手続きも増加し、なぜつくるのが強く問われています。このような時代の流れの最先端を捕まえるためには、その原点が何かを考える必要があるでしょう。私たちは今年度のJIA 建築セミナーのテーマとして、建築の「原点と先端」を提案します。

8つあるプロジェクトでは、日本統治時代の古建築を今なお数多く残しながら、同時に急激な経済成長の中にある台湾建築の見学会をはじめ、まちづくりから最新の建築デザインまで、多様な分野の原点と先端で活躍されている方々を講師にお呼びする予定です。この対比の中から、受講生の皆さんと一緒に現代の建築を考える手がかりを発見していきましょう。

実行委員長 福島加津也 実行委員 奥村俊慈[ケミカルデザイン]/小野田環[久米設計]/早川慶太[早川建築計画]/干場弓子[studio B05]
副実行委員長 富永祥子 前田道雄[アーキプロ]/宮晶子[STUDIO 2A、日本女子大学准教授]/森清敏[MDS 一級建築士事務所]

<http://www.jia.or.jp/kanto/seminar/index.htm>



富永祥子 Hiroko TOMINAGA

1990 東京藝術大学美術学部建築科卒業
1992 東京藝術大学大学院美術研究科修了
1992-2002 香山壽夫建築研究所
2003- 福島加津也+富永祥子建築設計事務所
現在 工学院大学建築学部建築デザイン学科准教授



福島加津也 Katsuya FUKUSHIMA

1990 武蔵工業大学(現東京都市大学)
工学部建築学科卒業
1993 東京藝術大学大学院美術研究科修了
1994-2002 伊藤豊雄建築設計事務所
2003- 福島加津也+富永祥子建築設計事務所
現在 東京都市大学工学部建築学科講師

JIA 建築セミナー趣意書

人の生きる環境の形を決める建築家は、常にその社会的責任に対する意識を新たに、技量の継続的向上に努めなければなりません。建築家とは、「なる」ものではなく、むしろ「なり続ける」努力によって成立する職能なのです。

私たち、日本建築家協会の使命の一つは、会員相互の交流と切磋琢磨をつうじて、こうした自己研鑽の機会を広げることにあります。そうした機会は、会員にはもちろんのこと、未だ会員になっていない若い方々に対しても開かれなければなりません。

現在の日本の建築教育はほとんど大学に任されており、また、その期間が限られているためあって、建

築家としての意識と見識を養うためには、基だ不十分な域にとどまっています。そして、そこに学んだ若者が卒業して一旦社会に出ると、自己研鑽を積み続ける機会に恵まれないのが通例です。

そうした状況に鑑み、私たちは会員及び会を支援してくださる各界の知的リーダーたちの蓄積を、建築家への道を歩み始めた若い方々に受け渡し、建築家に「なり続ける」機会の一つを提供するために「JIA 建築セミナー」を開設しました。

このセミナーは、1978年以降の歴史を誇っております。38年目にあたる2015年度も、長年の間に培われた良き伝統を受け継ぎつつも、時代の状況に応じた新風を織り込んでセミナーが開催されますので、一層のご理解とご鞭撻をお願いいたします。

JIA建築セミナー2015 | スケジュール | 2015年6月27日 - 2016年2月(予定)

02 6月27日[土]14:00開場、14:30開演 | 東慶寺(北鎌倉)、奉納演奏:KNOB+「儀式とともに喜ばず、生きる」 | 対談:KNOB[ディジュリドウ奏者]+村上祐資[極地建築家]
講師の都合で【プロジェクト1】の「生きていくための儀式」を開演前に開催します。

開講 7月4日[土]14:00-

01 「住宅政策:100年住宅から長期優良住宅までを考える(仮)」 | 内田祥哉[東京大学名誉教授] | 日本の住宅政策に長く関わってこられた氏の道程と残す課題をお聞かせします。
インタビュー:福島加津也+富永祥子[JIA建築セミナー実行委員長、副委員長]

PROJECT 1 はじまりの建築

自然環境に開放され愉しむ「ツリーハウス」、生存を脅かす環境に対峙する「極地の建築」、いずれも人と環境の関係性を突き詰めた建築です。これらの建築から環境との関わり方について考えます。また、極地建築家の村上祐資氏は鏝のような建築のなかでは、生きていくための精神=儀式が重要だと指摘しています。「生きていくための儀式」である奉納演奏と対談を通じて、建築の肉体と精神を見つめなおします。

03 7月7日[火]19:00- | 「ツリーハウスから見える風景」 | 小林崇[ツリーハウスクリエイター]

04 7月14日[火]19:00- | 「剥き出しの住まい、暮らし—火星で生きること」 | 村上祐資[極地建築家]

PROJECT 2 台湾の建築—台湾と日本を巡る建築・都市の物語

台中メトロポリタンオペラ等の現代建築から日本統治時代のリノベーション建築、老街まで見学を企画。見学には、台湾都市史研究の第一人者である青井哲人氏、台湾若手建築家グループ、リトルピープルアーキテクトの代表でもある謝宗哲氏に同行していただき、その建築や街の読み解き方などについて解説していただきます。

05 8月4日[火]19:00- | 「台湾都市の時間的解剖学—アノニマスな都市-建築系の読み方」 | 青井哲人[建築・都市史家、明治大学准教授]

06 8月8日[土]-9日[日] | 「台湾建築見学ツアー」

07 8月8日[土]or 9日[日] | 「台湾における日本現代建築—安藤忠雄氏と伊東豊雄氏の作品他」 | 謝宗哲[建築家、Atelier SHARE主宰]

PROJECT 3 関西建築界の重鎮と若武者 建築ツアー

関西に拠点を置く建築家の竹原義二氏(大阪)と横内敏人氏(京都)の作品や着想の原点となった京都の古建築を巡り、最後に「私の原点と作品(仮)」というテーマで対談していただきます。また、若手建築家の島田陽氏(神戸)の作品や、今話題の建築なども見学する予定。重鎮と若武者の建築をめぐる大冒険です。

08 9月12日[土](予定) | 「私の原点と作品(仮)」 | 対談:竹原義二[建築家、無有建築工房、摂南大学教授]+横内敏人[建築家、横内敏人建築設計事務所、京都造形芸術大学教授]

09 9月13日[日](予定) | 「私の原点と作品(仮)」 | 島田陽[建築家、外アーキテクト/島田陽建築設計事務所]

PROJECT 4 多世代の福祉と建築

2人に1人が痛くなる今日。また、少子化と高齢化による個人と家族の負担。新宿区で長く訪問看護師として活動する秋山氏が目指すは、イギリスのがん患者無料相談施設「マギーズセンター」(現在、全英に15施設)。秋山氏も地域住民に貢献しようとして開設した、都営戸山ハイイツ(高齢化率約50%)内の無料相談施設「暮らしの保健室」の活動は全国の医療福祉従事者に影響を与え、続々と同様の施設が開設しています。

東陽町のエークワットギャラリーにて、9月26日-10月13日開催(予定)の「マギーズセンター-建築展(仮)」でも紹介する、故マギー氏の夫の建築評論家チャールズ・ジェンクス氏のコーディネートによる建築家ブランカ・ゲーリー、リチャード・ロジャース、ザッパ・ハディッド、レム・コールハースらの設計によるマギーズセンターの建築を紹介します。

10 10月(日程調整中) | 「地域に貢献する暮らしの保健室の活動から(仮)」 | 秋山正子[看護師、保健師、ケアーズ白十字訪問看護ステーション統括長、暮らしの保健室室長]

11 10月(日程調整中) | 「建築デザインが心を癒す、イギリスのマギーズセンターの建築から(仮)」 | 佐藤由巳子[建築コーディネーター、佐藤由巳子プランニングオフィス]

PROJECT 5 生きられた家/生きられる家

新たな住み手に受け継がれていく住宅建築を軸に、建築家の思考を探る企画。新規オーナーの住まいとして蘇った坂本一成氏の初期の代表作「代田の町家」。そして氏の自邸「House SA」の見学を

通して、氏の建築に内在する思想を読み解きます。また、林昌二氏・林雅子氏の自邸「私たちの家」をご自邸として受け継ぎ、復元改修された安田幸一氏を招き、建物見学を行うと共に、再生された家への想いと建築観を語っていただきます。時間を経て、生きられていく家を体験できる貴重な時間です。

12 10月(日程調整中) | 「代田の町家」 | House SA | (設計:坂本一成)の見学会

13 10月(日程調整中) | 「設計作品の連続と変化(仮)」 | 坂本一成[建築家、アトリエ・アンド・アイ 坂本一成研究室、東京工業大学名誉教授] / インタビュー:長島明夫[「建築と日常」編集長]

14 11月(日程調整中) | 「小石川の住宅—「私たちの家」改修—見学会(原設計:林昌二、林雅子/改修設計:安田幸一)」 | 「改修にあたって:私の住宅観(仮)」 | 安田幸一[建築家、安田アトリエ、東京工業大学教授]

PROJECT 6 人を育てる、まちを育てる

生き生きとした「まち」には、生き生きとした「人」がいる。そんな人が育つ街づくりの先端で活躍している方々にご登壇いただきます。街づくりを実現するための民と官の役割、これまでの街づくりとこれからの街づくりについて考えます。

15 11月3日[火]祝 14 :00- | 「プレーパーク? 手づくりの遊び場が地域を変える?」 | 対談:アタル! [NPO法人プレーパークせたがや] | 駒沢はらっばプレーパーク | 世話人 | 沖塩公哉 [NPO法人プレーパークせたがや] | 駒沢はらっばプレーパーク | プレーワーカー]

16 11月10日[火]19:00- | 「都市の資源とは—クリエイティブシティ・横浜/大建築の聖地・島根」 | 座談:仲原正治[クリエイティブディレクター]+桂有生[横浜市都市デザイン室、都市デザイナー]+山本大輔[島根県庁職員、「大建築友の会」事務局長]

17 11月28日[土]16:00- | 「MAD City—住みたいまちを自分でつくるエリアブランディング」 | 寺井元一[株式会社まちづくりクリエイティブ]

PROJECT 7 ターニングポイントのデザインと表現

硬直した日本の制度を領域横断的に変化させ、エンドユーザーに価値を提供する社会システムデザインを提唱する横山禎徳氏。グラフィックデザインという領域からイラストにツールを変えて、新鮮な価値を表現する関根正悟氏。取り巻く環境が大きく変化の中で、これからのデザインと表現のあり方についてお聞きします。

18 12月1日[火]19:00- | 「建築家のブランディングとは」 | 横山禎徳[社会システムデザイナー、東京大学EMP特任教授、元マッキンゼー・アンド・カンパニー東京支社長]

19 12月(依頼中) | 「イメージを表現する(仮)」 | 関根正悟[イラストレーター]

PROJECT 8 創作の現場

建築そのもの、あるいは建築家や建築をつくる組織体における「原点と先端」について考えるプログラムです。

ハリにて設計事務所DGTを共同主催する田根剛氏は現在建設中の「エストニア国立博物館」や新国立競技場国際設計競技「古墳スタジウム」でファイナリストに残るなど、国際的な注目をあびています。先端性も内包しつつ「場所をつくる」という建築の初源性について考える田根氏と著書「カンパセーションズ」にてヨーロッパのアトリエ6組の建築家との対話から建築の現在と歴史について思考する建築家の長谷川豪氏に、それぞれ実作を通して現在の思索を語っていただきます。

また、先端の技術革新や研究が並走する組織事務所における創作の可能性について、久米設計を独立後もその仕事のスケールを維持し、「ROKI Global Innovation Center」など注目の仕事を続ける小堀哲夫氏と日建設計に在籍しながら「Coop Kyosai Plaza」などの数々の仕事で個人の存在も聞こえる若手設計者の羽鳥達也氏、両氏の実作見学と対談いただきます。

アトリエと組織、それぞれにおける建築文化の「創作の現場」に迫ります。

20 1月(日程調整中) | 「原点と先端」 | 田根剛[建築家、DGT]

21 1月(日程調整中) | 「建築の時間と歴史」 | 長谷川豪[建築家、長谷川豪建築設計事務所]

22 2月(日程調整中) | 「ROKI Global Innovation Center」(設計:小堀哲夫)、[Coop Kyosai Plaza] (設計:羽鳥達也・日建設計) 見学会

23 2月(日程調整中) | 「両極の並存—NBF大崎やコープ共済プラザを通じて」 | 羽鳥達也[建築家、日建設計] | 「ROGIで考えたこと」 | 小堀哲夫[建築家、小堀哲夫建築設計事務所] | 対談「組織体における創作活動の可能性と限界—実体験を通して」 | 羽鳥達也+小堀哲夫

【2015年度の最終講座】

24 2月(日程調整中) | 「私達の原点と先端」 | 福島加津也+富永祥子[建築家、福島加津也+富永祥子建築設計事務所] | おめでとう!! 2015年日本建築学会賞受賞「木の構築 工学院大学弓道場・ボクシング場」

JIA建築セミナー2015 | 募集案内 | 2015年6月27日 - 2016年2月(予定)開催 CPD申請中

定員 40名

受講資格 当セミナーに興味のある方、若手設計者ほか

講習期間 2015年6月27日-2016年2月(予定)

見学会等の集合場所・時間ほかは、追ってお知らせします。

会場 JIA館(原則)

住所:東京都渋谷区神宮前2-3-18 | TEL: 03-3408-8291

交通:地下鉄銀座線外苑前駅 徒歩8分/JR千駄ヶ谷駅 徒歩10分/JR原宿駅 徒歩12分

受講料 一括払い:140,000円(分納、ご相談承ります)

見学・宿泊等の交通費、食費等は実費となります。見学以外の講座では、原則、講師と受講生との交流のために各回1コイン(500円)の懇親会を開催しています。お時間の許す方

は、ご参加下さい。

申込方法 受講希望者は氏名・住所・連絡先(TEL/FAX/E-mail)を明記し、事務局までFAXか、郵送にてお申込下さい。追って、ご連絡いたします。

なお、都合により変更になる講座もありますので、予めご承知置き下さい。

主催 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部

企画運営 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 JIA 建築セミナー実行委員会

JIA 建築セミナー事務局(担当:佐藤由巳子)

申込・問合せ先 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 JIA 建築セミナー事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4階

TEL: 03-3408-8291 | FAX: 03-3408-8294